

第4回 ちむぐるプラン住民会議

平成30年7月26日(木)

【テーマ：字・安心生活と権利擁護について】

1. あいさつ・・・・・・・・・・こども課 前城課長
2. 成年後見制度と南風原町の状況について
・・・・・・・・・・南風原町保健福祉課 包括支援センター 狩俣
3. 日常的金銭管理支援事業について
・・・・・・・・・・南風原町社会福祉協議会 桃原
4. 北中城村の取り組みについて
・・・・・・・・・・北中城村社会福祉協議会 高橋 専門員

【主な感想と意見】

- ①「成年後見人制度」は以前から知っていましたが、詳しくは知らなかったので解りやすいパンフレットもありとても参考になりました。(中略)みんな元気で老いていくのが Best ですが、いつ何があるか分からないので一人ひとりに関わっていく事だと捉え周知していくのが大事だと思います。理解を得られる方が一人ひとりと増えれば充実する第1歩となる とのでは?と思いました。
- ②正直、「成年後見人制度」について知らなかったのもとても解りやすく勉強になった。認知度のUPは、やはり病院との連携ではないかと思った。利用者の方が多く集まる場所が効果的かと。やはりどの事業でも話になるとは思うのですが、市民を巻き込んでいく、これに尽きるかと改めて感じました。
- ③町民と社協の連携により町民の意識が上がると思います。福祉サービスまでなら支援員は多くの方が参加してくれると思うが、金銭管理だと不安があるので、まずは福祉支援員のみから増やしてはどうか?
- ④ここでも、まちづくり、人財育成が重要なんだと理解した。女性会や読み聞かせなど地域ボランティアの意識の高い皆さんと、この講義を聴いて意見交換ができれば支援員に目覚める人もいそう。
- ⑤高齢化の進む近年、「後見人制度」の必要性がわかりました。また市民でも取り組んでいけることを知り、わが町でもぜひ前向きに取り組んでいただきたいと感じました。多くは望まなくても数人ずつからでも市民後見人の育成をお願いします。
- ⑥高齢者を親族ではなく地域が見て行く時代になっていく中、市民後見人は必要になっていくと思う。どんどん研修や勉強会をしていかないといけないと思った。
- ⑦北中城村での取り組みが素晴らしいと思った。行政や社協、地域住民が関わって権利擁護の支援者養成研修の活動を、今後の南風原町でも取り入れて欲しいと思った。
- ⑧制度としては親族や関係する諸団体の連携が大切だと感じます。その人それぞれの人生があり、住んでいる地域があります。支え合うことの大切さを感じます。また、「市民後見人制度」の普及を目指せればと思います。
- ⑨困っている方々をどうやって行政と社協で連携を取って支援するのか、また市民への取り組み等もネットに入れていくのか、北中城の取り組みで学びました。今までに無いものを市民で作り出すことは必要です。この住民会議の具体的なベクトルを感じま

した。

- ⑩支援している方をどのようにしたら地域につなぐことができるのか、どう理解してもらえるか、常に考える日々です。判断力が乏しい人に対して行政、社協、地域などが支え合っていけるかを今後も一緒に考えて行けたらいいなと思いました。
- ⑪「市民後見人」と「法人後見人サポーター」という形があることを初めて知りました。また後見人ができる市民が増える事は、地域で暮らせる可能性が広がるので理想的だと思いました。責任の伴う活動であり実現は難しいということも知りました。行政と社協がよりタッグを組むことで、よりよい地域づくりにつながるということも解りました。
- ⑫安心して生活を送っていただくために、高齢者や障がい者、児童等の権利擁護をすることが必要になってきます。(中略)今日の住民会議で北中城村の権利擁護支援センターの法人後見人や市民後見人の組織育成の必要性を再認識した。南風原町でも町民のためにやって欲しい。

